

吉野産品アンテナショップ 情報発信で連携協定 奈良県・南都銀と

奈良県と南都銀行は、吉野町などが東京・虎ノ門のオフィス街に15日オープンしたアンテナショップ「森カフェ」と連携協定を結んだ。同カフェは吉野産のスキヤヒノキを内装などに用い、地元食材を使ったメニューを

提供。県と南都銀は県産品を供給する事業者を仲介するほか、同店でイベントを開催するなどPR面でも協力する。

森カフェは、同日開業した複合施設「フォレスト虎ノ門」内に、箸袋などを製造する溝端紙工印刷(和歌山県かつらぎ町)の子会社、きんだい(同)が設置した。

きんだいと吉野町、吉野活性化に取り組む特定非営利活動法人(NPO法人)「Yoshino Heart」が共同で、地元産品の情報発信に取り組む。

70席を備え、内装に約200本の吉野杉を使用。営業時間は午前7時半～午後11時で、同町産の米や酒、キノコや卵などを使った多彩な料理を提供する。